

小中学生記者、文化財取材!

昨年実施された「第53回小中学生記者の文化財取材コンクール」で入賞した3名の小中学生が、今春の京都非公開文化財特別公開にて御本尊の丈六地藏菩薩坐像などが公開される善願寺(京都市伏見区醍醐南里町)を早速早く訪ねて取材し、記事を作成してもらいました。今回の試みは小中学生に地元、京都の文化財をより深く知り関心を持ってもらおうと、初めて実施しました。今後も文化財愛護の精神を小中学生の時代から養ってもらえるように定期的に実施していく予定です。



善願寺善願寺の歴史や魅力

京都教育大学附属桃山中学校

阿部 美咲

一見にぎやかな通りの一角に、善願寺は静かに立っていました。そこには、私たちの想像を超えるたくさんの歴史と魅力がありました。

善願寺は、聖武天皇のころに僧・行基が地藏尊を本尊として建立した寺であると伝えられています。そのお地藏様は、国の重要文化財に指定されている地藏菩薩坐像です。腹部に腹帯を巻いておられることから『腹帯地藏さん』と親しまれ、安産祈願に遠方から訪れる人が絶えません。

そんな地藏菩薩坐像は、今までは一三〇〇年前、つまり、奈良時代ごろに建てられたものではないかと言われていました。し

かし、最近では平安時代ごろのものだということが分かってきました。「奈良時代と平安時代、あまり近い時代ではないけれど、それでも約九〇〇年前のお地藏様なのだから、すごいものだ。」と住職は語られました。

しかし、地藏菩薩坐像のすごいところはこれだけではありません。なんと、最近になって地藏菩薩像の体の中から、仏教の教えを写した紙が千枚以上も出てきたのです。捨ててしまうのはもったいないということになり、出てきた当初は、その紙を安産のお守りの包みの中へ入れて、売っていました。

他にも善願寺には歴史のあるものがたくさんあります。天井絵、阿弥陀三尊像、水子地藏……、その中でも私が一番おもしろいと感じたのが榎の木不動尊像です。善願寺には、樹齢一千年を超える神木の

榎の木があります。昭和三〇年ころ、当時の住職が不動尊の立たれる夢を見ました。そして、西村公朝氏に、「その木に仏像を彫ってくれ。」と懇請します。こうして、生の立木に仏像が彫られました。

このような仏像は珍しく他にあまり例を見ません。しかし、現在少しずつ仏像に木の表皮が巻いてきているため、いずれは見えなくなってしまうのではないかと心配されています。「今しか見られない」というキャッチコピーに、私は魅力を感じました。

善願寺というお寺は「有名」というわけではありません。しかし、私は実際に行ってみて、歴史や魅力を感じました。ひっそりとしたお寺にも歴史や魅力が隠されています。この春、ぜひおもしろい歴史や魅力を探しに善願寺を訪ねてみてはいかがでしょうか。

みんなで笑おう

京都教育大学附属桃山中学校

秋山 彩葉

皆さんは「お地藏様」と聞くとどんなことを想像するでしょうか。『古くから伝わっている』『静かなイメージ』など色々な考え方があると思います。私はお地藏様のことについて、全くと言っても良い程何も知りませんでした。しかし、善願寺へと足を運び、住職さんのお話をお聞きして、考え方が一八〇度ガラリと変わりました。

突然ですが、皆さんは「地藏菩薩坐像」という像を知っていますか?この像は、重要文化財に指定されている、とても大きな像です。でも誰がいつ寄付をしたのか、未だに分かっていません。そんな謎に満ちた「地藏菩薩坐像」。ですが、分かっていることもたくさんあります。この像は女性の

安産を願うために建設され、遠方からも訪れる人が、絶えません。

さて、二つ目の質問です。仏教をつくった人物を皆さんはご存じですか?そう「釈迦」です。しかし釈迦はもうこの世にいません。釈迦は最期に、仏像に自分の思いを託したそうです。つまり、釈迦は自分の代わりに仏像に「人間の幸せを守れ。」と命じたのです。釈迦の死後五十六億七千万年後に釈迦に代わって弥勒仏がお出ましになると言われています。しかし、未だ二千年五百年程しか経っていません。それまでの長い間釈迦の命により地藏菩薩が担当され私たちを見守ってくれているのです。

又、地藏菩薩坐像の中にはたくさんさんの写経が入れてあります。また左手には宝珠を持つておられます。この宝珠には人の苦しみを代わりに受けてくれる力があります。さあ、最後の質問です。この地藏菩薩坐像に何と唱えて祈願すると良いのでしょうか。

うか。正解は「おん・かかか・びさまえい・そわか」です。この中の「かかか」という言葉には「ハ・ハ・ハ」と『笑う』という意味が含まれています。つまり、人間は常に笑っていることで必ず幸せが舞い込んできると、ということを指しています。

皆さんはこの私の三つの質問に答えられましたでしょうか。又、今までの話を聞いて何を感じたでしょうか。二千年五百年前に生きていた釈迦の思いが、いくつもの時代を超え、像という違う形になって私たちを見守ってくれているなんて、素晴らしいと思いませんか。それに仏像は私たちの笑顔をも守ってくれているのです。

私たちは今、二千年五百年前の過去から「笑顔」「幸せ」という二つのバトンを受け取りました。次はこの二つのバトンを私たちが伝える番です。だから、ずっと笑っていきましょう。ずっとずっと。五十六億七千万年後の未来に届くように……。

腹帯地藏のなぞ

京都市立葵小学校

昇航玄

善願寺新聞		H28.2月18日 発行	
大きな地藏とご対面	重要文化財	腹帯に注目	感想
地藏菩薩坐像について取材を行った。この地藏は松木の寄木造りになっている。28cmの地藏は大きくて迫力	男の安産を願って造られたそう。	腹帯に注目	遠い昔に造られた作品が目の前にあることに感動しました。この取材で日本の歴史のすばらしさを感じました。
かかか・びさまえい・そわか	腹帯に注目	腹帯に注目	腹帯に注目
かかか・びさまえい・そわか	腹帯に注目	腹帯に注目	腹帯に注目

